

平成 22 年 4 月 1 日
三井生命保険株式会社

平成 22 年度入社式 社長挨拶（要旨）

三井生命保険株式会社（代表取締役社長：山本 幸央）では、本日午前 10 時より、111 名の新入職員を迎えて入社式を行いましたので、以下のとおり、社長挨拶の要旨をお知らせいたします。

創業の精神

- 当社の初代社長・団琢磨は、「生命保険は会社のためというよりは、保険契約者のための事業である」と語っていたという。これが当社の創業の精神である。お客さまに生命保険の必要性をご理解いただき最適な保険を提案すること、そしてきめ細かいアフターサービスをご提供することが私たちの役目であり存在価値である。

当社の目指すべき姿

- 本当の意味で「お客さま本位の会社」に生まれ変わる。当社は営業職員を中心として保険の販売を行っている会社であるが、多くのお客さまは、自分に必要な保障や保険金額を対面で相談しながら保険に加入されることを希望している。そのようなニーズにしっかり応えていくために、ご加入時のコンサルティングを徹底するとともに、ご加入後もお客さまに満足いただけるアフターサービスを提供していく。
- お客さまの満足度を高めるためには事務やシステムの整備も重要であり、ご提案、アフターサービスのご提供、保険金の支払まで全てのプロセスがお客さま本位の考え方に適っているか徹底して見直す。
- 当社は「品質」を徹底的に追求する生命保険会社に構造転換していく。「品質」とは、人材の質、契約の質、仕事の質といったことだが、その質を飛躍的に高めて、高い生産性と効率性を実現することで会社収益力を高めていく。
- 三井生命の最も貴重な財産は、「人」である。明日の三井生命を築いていくのは、皆さんを含む全役職員である。ひとり一人の情熱、粘り強く諦めない姿勢、積極的な行動力、困難に打ち克つ精神力や勇気が組織を動かし、事業を支えている。本日から三井生命の事業を支える一員となる皆さんの可能性は無限であり、将来の成長に限界はない。大きく成長し、羽ばたいて欲しい。

新入職員の心に留めてもらいたいこと

— 進取の気象 —

- 今日のような厳しい競争環境のもとでは、今までにない商品やサービスを創造し、お客さまに新たな価値を提供していくことが極めて重要であるが、新たな価値を創出する原動力は、新たな価値を積極的に取り入れようとする前向きな企業姿勢と、実現しようとする従業員ひとり一人の強い意欲と情熱によるところが大きい。
- 皆さんには変化に対する感受性を高め、常にお客さまの視点を忘れることなく、若い人の武器である柔軟な発想を持ち続けて、積極的にいろいろなことに取り組んでほしい。

— 仕事に対する情熱 —

- 仕事の結果を大きく左右するのは、仕事を通じて自分自身の成長を実感したい、自分のやりたいことを実現したい、達成感を味わいたい、という強い想い、即ち仕事に対する情熱である。これをいつまでも持ち続けていただきたい。そのためには、何をを目指すのか、何を実現したいのか、を自分自身でしっかりと認識する必要がある。
- 皆さんはそれぞれの志を持って入社されたと思うが、本日という記念すべき日に、改めて自分自身を見つめ直していただきたい。

以上